

子宮頸がんワクチン

ご意見をお聞かせ下さい!

接種一時中止で、副反応の被害を防ごう

一ワクチンでの予防に疑問、ガン予防は検診が重要です。一



不活性ポリオ : 5.3
インフルエンザ
: 2.3

厚生労働省は、6月積極的勧奨の中止を発表。昨年4月より、予防接種法に位置づけ、利用者負担が無い定期接種に踏み切る。100万接種で43.3という高い事故報告を受け異例の対応。現在調査中。認可の甘さが問題なのは明らかですが、効果にも大きな疑問があり、接種による不妊への関与の情報もあります。2011年から導入した横須賀市は、対象者や広報よこすか、Hpでの周知にとどめるのみ。

ウイルスへの有効期間は10年。24歳までに過去死亡に至った報告は無く、急いだ認可は、製薬メーカーへの配慮が疑われます。

接種の対象は、中学1～高校1年生の女子です。がんを引き起こす半数に有効とされる2種のワクチンを、3回接種します。

横須賀市への調査を実施したところ、1年間の対象数の1900人弱の約78%の生徒が接種しており、「副反応は1件、発熱・頭痛後回復」とのことでした。7月末までに文科省に提出した、30日以上欠席したもの等の調査には、「無し」と報告したそうです。

副反応は、手足のしびれ、過呼吸、痛み等で、厚生労働省の発表では、重篤な後遺症に至っているものが358件です。しかし、被災者の会によると、体調不良と接種の関係がわからず、カウントされないものが多数あるとの事です。実態の把握が必須です。詳細は、被災者の会 <http://shikyuukeigan.fem.jp/> を。ご意見、疑問や被害の相談をお寄せ下さい。090—6178—8626 (瀧川)

企業団体献金は受け取らず、政党助成金もありません。

—大勢の市民で政治を変える!—

神奈川ネットワーク運動は、生活の中から見えてきた課題を、政治家や役所に任せきりにせず、市民主体で解決を図る、「市民社会」をめざす地域政党です。県下には17の自治体に27の地域ネットがあり、20人の女性議員がいます。新会員(年会費1,000円)、チラシ撒きボランティア、カンパ・バザー品の提供をお待ちしています。

◆選挙はカンパとボランティア ◆活動費は会費と議員や市民の寄付

◆身近な問題はミニフォーラムで解決 ◆議員は2期8年で交替

—カンパ口座 神奈川ネットワーク運動 横浜銀行横須賀支店 541-1834959—